

防衛問題セミナー

テロに立ち向かう日本 9.11テロから7年。日本の役割は？

派遣海上補給支援部隊の活動

防衛省
平成20年

次 第

海上阻止活動の概要

洋上補給の概要

隊員の勤務状況

外国艦艇からの謝意

「はまな」とパキスタン艦艇

海上阻止活動の概要

海上パトロールイメージ



無線照会 (諸外国海軍)



立ち入り検査 (諸外国海軍)



補給支援(海自)



洋上補給の概要



安全確保

艦載ヘリ

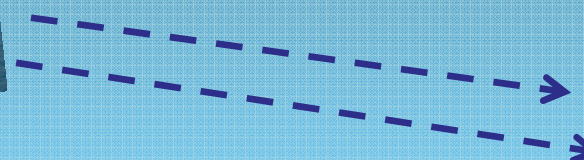
- ・ 水上目標搜索・確認
- ・ 前方警戒
- ・ 近接する付近航行船舶の船名の確認



1,000m



補給艦



併走しながら補給

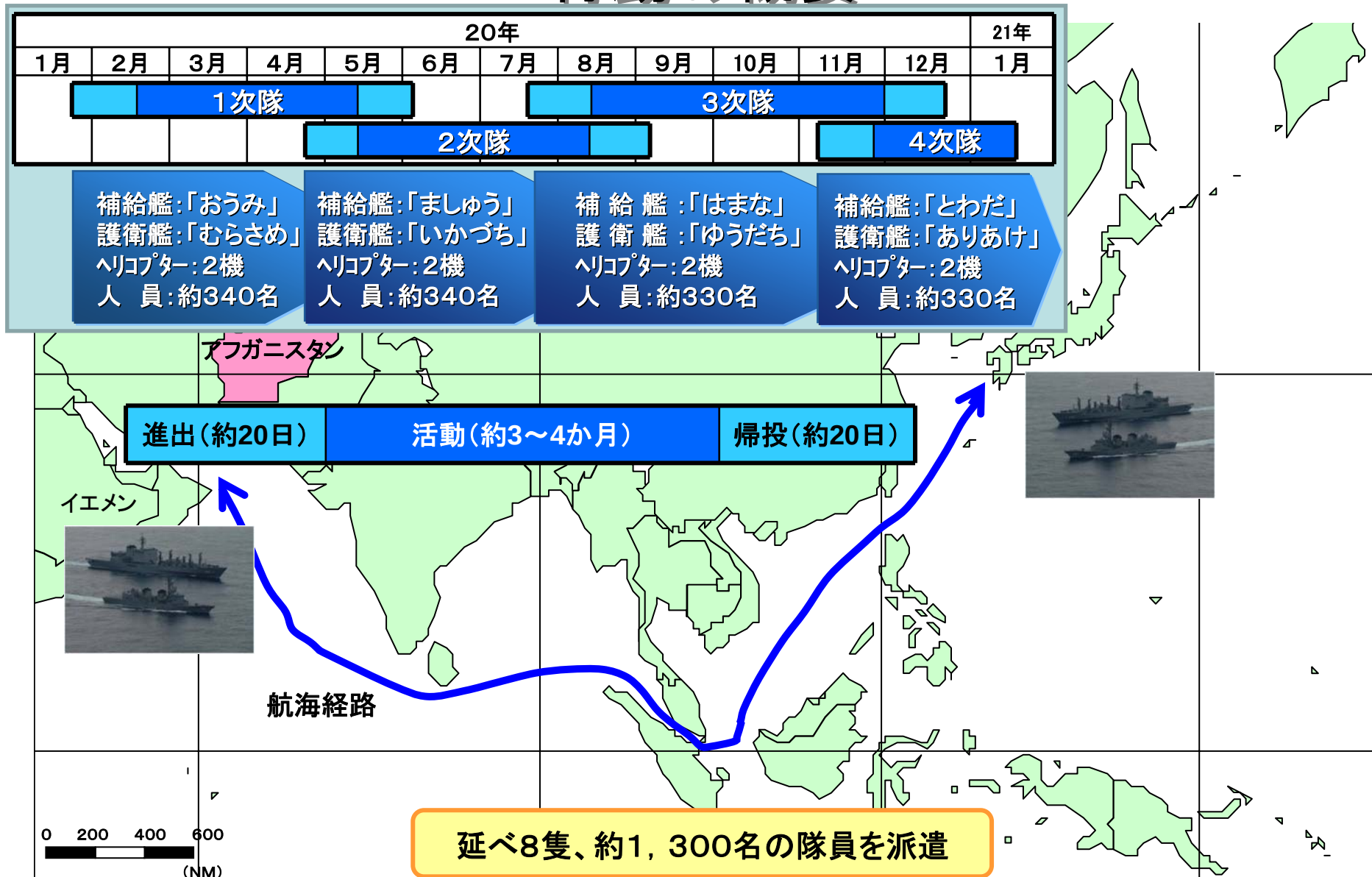
護衛艦

- ・ 海中転落者の救助艦
- ・ 対空目標全周警戒
- ・ 近接する船舶への対応
→国際VHFでの避航要請

洋上警戒



行動の概要



派遣部隊(第4次)の編成

内閣総理大臣 麻生 太郎

防衛大臣 浜田 靖一

統合幕僚長 海将 齋藤 隆

インド洋方面派遣部隊指揮官
自衛艦隊司令官 海将 泉 徹

派遣海上補給支援部隊指揮官
第6護衛隊司令 1等海佐 小野寺 功

司令部

護衛艦ありあけ(艦載ヘリ×2)
艦長 2等海佐 高田 昌樹

補給艦とわだ
艦長 2等海佐 徳永 明洋

派遣 期間	進 出	20.11.10 ~ 11下旬
	支援活動	20.11下旬~

約330名



派遣3回目
前回派遣: 16年5月
~16年9月



派遣7回目
前回派遣: 18年11月
~19年4月

現在派遣中の艦艇

補給艦とわだ



基準排水量 (長さ)	速力	装備
8150トン (167m)	22ノット	洋上補給装置 補給品艦内移送装置

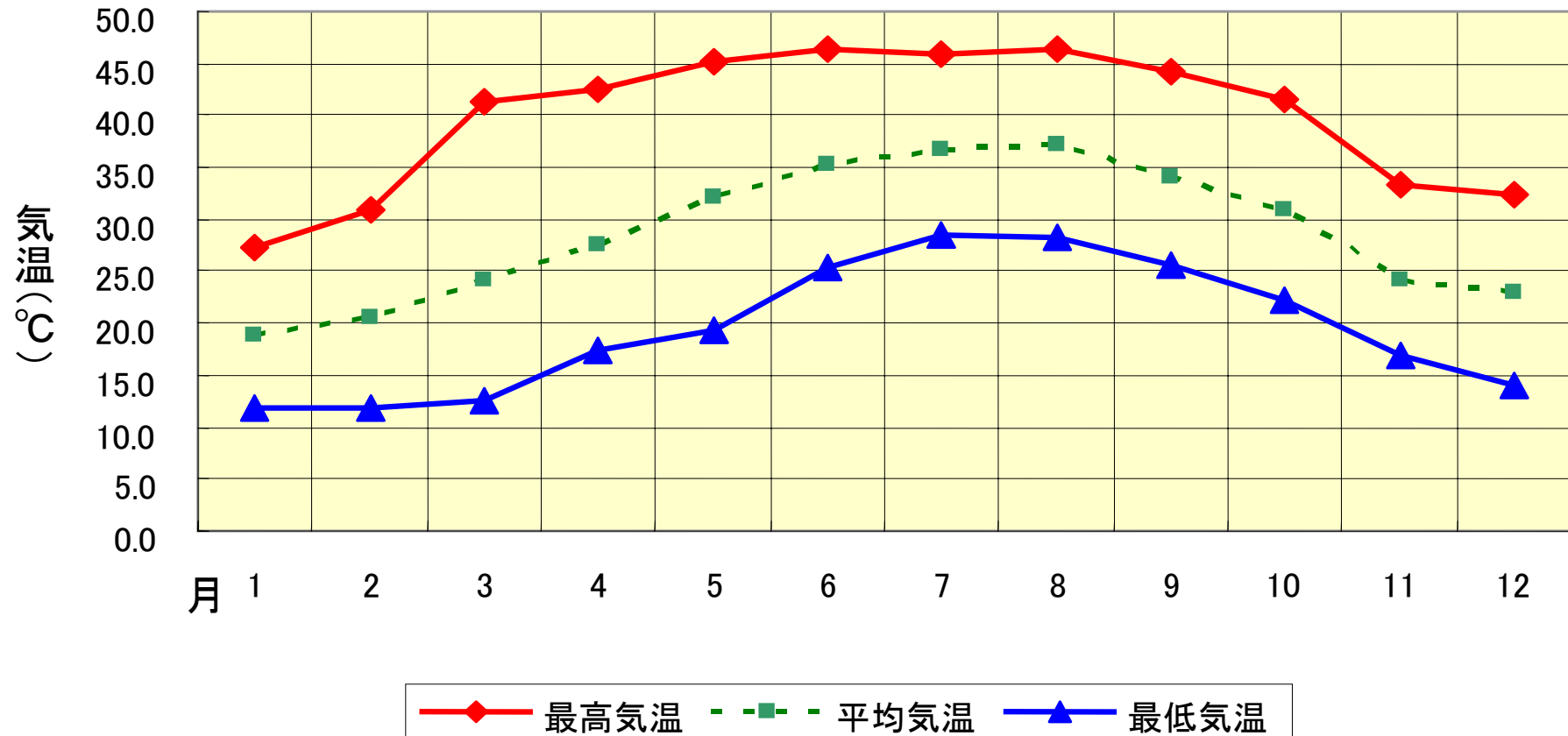
護衛艦ありあけ



SH-60K

基準排水量 (長さ)	速力	装備
4550トン (151m)	30ノット	高性能20ミリ速射砲 76ミリ速射砲 VLS装置 SSM装置 アスロック装置 短魚雷発射管 哨戒ヘリコプター (SH-60K)

隊員の勤務状況



砂塵の影響

吸気フィルターが数日で茶褐色に変色



フィルターの変化



酷暑対策

- 酷暑服の着用
- 露天甲板勤務場所への天幕の装備
- 熱中症対策の実施
 - 水分補給
 - 温度湿度の計測と注意喚起
 - 洋上補給実施の時間選定



乗員の作業

洋上補給



機器の整備



食 事



入 浴



ベッド



休憩スペース

外国艦艇からの謝意



パキスタン艦艇から手旗信号

パキスタン艦艇の例



艦長からメッセージ

“We are a proud to operate
with great ships of great nations.”

私たちは、偉大な国の偉大な
船とともに活動できることを誇りに思う



海自補給艦に対し敬礼する艦艇(カナダ)



手を振る艦艇乗員(イギリス)

表敬訪問の状況



バーレーン海軍司令部:バーレーン海軍司令官代理
(ジャッシム大佐)



バーレーン日本大使館:
バーレーン王国駐在特命全権大使(近藤 剛 閣下)



米軍基地:米第五艦隊後方補給任務部隊指揮官代理
(ヘネシー大佐)



米軍基地
:米第五艦隊司令官(ゴートニー中将)



イルカの歓迎(おろみ)
20